

2025 年度啓育指導賞授賞者決定

本賞は、LC研究懇談会に2025年度創設された褒賞であり、「LC研究者の啓育指導とLC研究懇談会の発展に、大きく貢献した者に授与する。」（啓育指導賞授賞規程第2条）と性格付けられている。啓育とは、その道の初心者能力が存分に発揮されるような機会を積極的に与え、後進の者の上達を願い教え導くことである。LC研究懇談会ホームページ（6月28日）及び2025年度の「ぶんせき」誌第9号（M2ページ）で公告し、10月15日を推薦締切として受賞者を募集した。11名からなる選考委員会（10月20日）で応募者を慎重に選考した結果、濱崎保則氏（株式会社太田胃散、LC研究懇談会個人会員番号：LC1A24007、推薦者：筆者）を満場一致で授賞候補者に選出し、2025年第7回拡大運営委員会（10月24日）で承認した。以下、濱崎氏のご略歴に触れた後、授賞業績の概要を紹介する。

濱崎氏は 2009 年昭和大学大学院薬学研究科（薬学専攻）博士前期課程を修了後、（株）太田胃散筑波研究所に入社し、現在は筑波研究所研究課の課長として OTC 医薬品の分析法開発、天然物分析を専門として居られる。この間、2024 年には昭和大学大学院薬学研究科（薬学専攻）博士後期課程を修了し、社会人ドクターとして博士（薬学）の学位を取得されている。2024 年 4 月 1 日付で LC 研究懇談会の役員（運営委員心得）に就任して以来、2025 年 3 月には上席事業委員に昇進し、誰に指示される事も無く、模範的な役員としての活動を積極的に継続されている。その主なものを列挙すると、以下の通りである。

1. 8 月を除いて毎月開催される LC 研究懇談会例会の殆どに参加し（2024 年度は 12 回中 11 回参加）、社内の若手社員にも積極的な参加を指導。
2. その成果として、部下の古谷萌花氏が 2024 年度の優秀一般会員賞を受賞。
3. 第 29 回液体クロマトグラフィー研究懇談会 特別講演会・見学会（2024 年 7 月 4 日、（公財）東京都農林水産振興財団・東京都農林総合研究センター）に LC 研究懇談会見学会小委員として参加。
4. 2024 年度の LC 研究懇談会講習会（2024 年 7 月 24 日～26 日、神奈川県川崎市）に参加し、社員 2 名にも参加を指導。
5. 2024 年度液体クロマトグラフィー研修会（2024 年 11 月 28 日・29 日、静岡県三島市）に社内の若手 2 名を伴って参加し、基礎知識の習得を指導。
6. LC 研究懇談会創立 50 周年記念会（2024 年 12 月 3 日、北とぴあ、東京都北区）に参加。
7. LC 研究懇談会第 30 回特別講演会・見学会（2024 年 12 月 16 日、島津製作所本社及び島津創業記念資料館）に若手社員 1 名を伴って参加。

8. 第 30 回 LC & LC/MS テクノプラザ（2025 年 1 月 15 日・16 日、大田区産業プラザ PIO）に実行委員として参加。
9. 第 404 回例会（討論主題：生薬・漢方における HPLC 分析～基礎から応用まで～、2025 年 2 月 19 日）のオーガナイザーを務め、2024 年度のベストオーガナイザー賞受賞。
10. 2025 年度に創設された LC 研究懇談会アカデミーの第 1 号入園者（4 月）。
11. LC 研究懇談会の電子ジャーナル「LC と LC/MS の知恵」への自己紹介文（第 9 号）、解説記事（第 10 号）の執筆、分析士会・協賛団体への所属企業加入等を通じて所属企業の CSR 的評価向上にも貢献。

以上の通り、濱崎氏は知識・情報を積極的に収集・吸収する向上心に富むばかりか、社内の若手にも同様の機会を与える寛容さを持ち合わせ、部下の成長を温かく見守る姿勢を持つ稀に見る逸材である。この世知辛いご時世、濱崎氏を上司の鏡と称するのは褒め過ぎであろうか。濱崎氏のこのような資質と心配りは、勤務先に留まらず、LC 研究懇談会にも誠に好ましい機運を齎しており、この事は本年 8 月に創設された啓育指導小委員会の責任者（小委員長）に逸早く抜擢された事からも明らかである。更に、同氏の活躍の場は（公社）日本分析化学会、（公社）日本薬学会、（一社）日本生薬学会、（一社）和漢医薬学会と広範に及ぶことから、創設された啓育指導賞の最初の受賞者として最適な人物と高く評価された。 2025 年 10 月 24 日記

（LC 研究懇談会委員長、東京理科大学名誉教授 中村 洋）